

肺炎球菌ワクチン接種について

★ 肺炎球菌について

日本人の死因の3番目が肺炎で、高齢者を中心に肺炎で亡くなる人は年間12万人に達します。インフルエンザにかかった高齢者の1/4が細菌性肺炎になるとも言われています。肺炎になる細菌には様々な種類がありますが、高齢者の肺炎の原因で最も多く、重症化しやすいものが肺炎球菌です。

★ 今回の肺炎球菌ワクチンについて

使用される「肺炎球菌ワクチン」は、すべての肺炎球菌による肺炎の約80%に有効とされています。

★ 肺炎球菌ワクチン接種の意義は？

ワクチンの予防効果は、個人差がありますが健康成人であれば通常5年程度は有効と考えられています。なお、肺炎球菌以外の微生物による肺炎の予防効果はなく、「すべての肺炎に有効ではない」ことをご了解してください。

しかし、ワクチンには「肺炎予防効果」とともに肺炎球菌による肺炎になっても軽症ですむなどの効果があるとされています。

★ 肺炎球菌ワクチン接種に当たっては効果とリスクを考慮してください。

ワクチン接種は「肺炎予防効果」、「重症化予防」などのメリットもありますが、注射部位のかゆみ、疼痛、発赤、腫脹、軽い発熱、関節痛、筋肉痛などの副反応もみられます。多くは1～3日で消失しますが、過去にこのワクチンを受けたことのある人が短い期間で再接種した場合には、強い副反応が出ると言われているので、この点は厳重な注意が必要です。

★ 予防接種を受ける前の注意

予診表裏面に記載している希望の医療機関に、事前に連絡をしてください。

予防接種は、ウイルスや細菌に対する感染を予防するものですから、体調のよいときに接種しましょう。安全に予防接種を受けるためにも、次のような場合に該当しないか確認しましょう。主治医の許可が必要な場合は、事前に接種の可否を確認しましょう。

● 主治医との相談が必要な場合

- ①心臓、腎臓、肝臓、血液の病気及び発育障害等の基礎疾患がある場合
- ②予防接種で接種後2日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある場合
- ③過去にけいれんを起こしたことがある場合
- ④過去に免疫不全の診断がなされている場合や近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合
- ⑤過去にこの肺炎球菌ワクチンを接種されたことのある場合

(過去5年以内にこの肺炎球菌ワクチンを接種されたことがある方は、本剤の接種により注射した部分が硬くなる、痛む、赤くなるなどの症状が強くなる場合があります。)

⑥肺炎球菌ワクチンの成分でアレルギーを起こす恐れがある場合

●接種が受けられない場合

- ①接種当日に 37.5℃以上の発熱がある場合
- ②重篤な急性疾患にかかっている場合
- ③肺炎球菌ワクチンの成分でアナフィラキシーを起こしたことがある場合

「アナフィラキシー」とは、通常、接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー（蕁麻疹、呼吸困難等）反応のこと。

- ④その他、予防接種を行うことが不適切な状態にある場合

★ 受けた予防接種を後の一般的注意

- ①接種後 24 時間は副反応の出現に注意しましょう。急な変化は、予防接種を受けたあとの 30 分の間に起こることが多いとされています。医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- ②接種後に高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、医師の診療を受けてください。
- ③接種後 1 週間は体調に注意しましょう。接種後に腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
- ④接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種した部分を強くこすらないようにしましょう。
- ⑤過激な運動、大量の飲酒は接種後 24 時間は控えましょう。その他はいつもどおりに生活できます。

★ 副反応が起こった場合

接種後まれに副反応が起こることがあります。予防接種と同時に、他の病気がたまたま重なって現れることもあります。予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れたり、体調変化が現れた場合は、速やかに接種した医師（医療機関）の診察を受けてください。その際には宮津市健康増進係（Tel：45-1624）にも連絡してください。

★ その他

「指定の医療機関」以外の医療機関に入院されている方や、宮津市以外の施設に入所されている方で接種を希望される方は、事前に連絡をください。

詳しくは宮津市健康増進係（Tel：45-1624）までお問い合わせください。

接種の際の持ち物

「高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種予診票（無料）」、住所や年齢などが確認できる健康保険証などです。